ホテル エーゼット
HOTEL AZ だより
Vol.12 令和5年3月号
ご自由にお持ち帰りください

～人・時めぐり逢い紀行⑦～

今回は、ホテルAZ川辺店のある南九州市に、塗木弘幸市長を訪ねました。同市のキャッチコピーである「みな、みりょく!」の通り、温かな魅力で迎えてくれる農業と観光のまちです。

［発行問い合わせ］株式会社アメイズ 福岡事務所 TEL:092-605-3321 FAX:092-605-3335
〒811-0213 福岡市東区和白丘2-3-2　令和5年3月発行 発行責任者 穴見 賢一（代表取締役社長）

南九州市は揖宿郡頴娃町、川辺郡知覧町、川辺町の３町が合併して2007年に誕生。薩摩半島南部に位置し、温暖な気候を活かしたお茶、畜産（養鶏・鶏卵）など農業が盛ん。知覧特攻平和会館があることでも知られる。

人時邂逅（ひとときかいこう）

穴見 賢一
株式会社アメイズ 代表取締役社長
Kenichi Anami

1970年生まれ、大分県佐伯市出身。2016年『ホテルAZ』を全国86店舗展開する『株式会社アメイズ』代表取締役社長に就任。柔道初段。趣味はラジコン、ドローン、ロードバイク

塗木 弘幸
南九州市長
Hiroyuki Nuruki

1953年生まれ。2007年、知覧町議会議員に初当選。1期目の半ばで合併を迎え、同年の市議会議員選挙で当選。市会議員を２期務め、2015年12月、市長選に当選。2019年、市長再選。現在2期目

「知覧特攻平和会館」の入館者数が２０００万人を突破

塗木　ホテルＡＺさんは市街地ではなく、郊外にあるんですね。出張で他県に行った時、泊まったことがあるのですが、周囲が田んぼでホテルにしては珍しい立地だなと思ったのを覚えています。

穴見　郊外型の立地が当社の戦略の一つです。ここで採算が取れるのかと思われる方もいらっしゃるようですね。

塗木　実際、南九州市の川辺店の業績はいかがですか？

穴見　稼働はとても良いです。昨年５月前後は少し減りましたが、それ以外はコロナ禍にあっても基本的に７割前後で稼働しています。

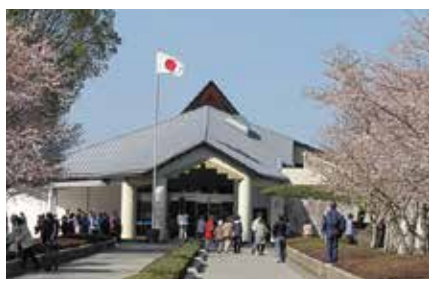
塗木　そうですか。コロナ禍でもそんなにお客様が入っているんですね。

穴見　川辺はちょうど「薩摩半島」の真ん中あたりで交通の便の良さも感じていただけているようです。南九州市の観光客の戻りはいかがですか？

塗木　当市は頴娃（えい）、知覧、川辺の３町が合併してできた市で、その中では知覧が一番の観光地です。「知覧特攻平和会館」があり、毎年、企業研修や修学旅行でご利用いただいてきました。知覧町の有料施設ベースでみると、コロナ前の２０１８年の入込客数が62万人だったのに対し、２０２０年はコロナ禍の影響で20万人まで落ち込みました。しかし、２０２２年は11月までで27万５０００人と前年を超え、さらに回復しています。コロナ前の６割は戻ってきたというところでしょうか。ただ、２０２０年、コロナ禍のさなか「知覧特攻平和会館」の入館者数が開館以来延べ２０００万人を突破したのは心強い出来事でした。

穴見　特攻の歴史は大切に語り継がなければいけない記憶ですね。一方で、そうした史実を癒すように広々とした平らかな土地に美しい茶畑が広がっているのが印象的です。

知覧特攻平和会館



沖縄で特攻戦死した1036名の陸軍特攻隊員のうち、知覧から飛び立ったのは439名にのぼります。日本各地から集結した隊員たちの平均年齢は21.6歳、最年少は17歳。本当に若い人たちばかりでした。

お茶やお肉、お宝グルメに舌鼓

塗木　お茶は頴娃と知覧が多く、川辺もありますが、少ないです。２０１７年に南九州市の茶銘柄を知覧茶に統一したことで、南九州市は小売り茶ではなく生葉としての生産量が日本一になりました。

穴見　そうなんですね。

塗木　当市の基幹産業となると、やはり農畜産業ということになります。お茶だけでなく、サツマイモも日本一の生産量を誇りますが、売上げ的には畜産が大きいです。中でも養鶏、鶏卵が盛んです。また、黒毛和種の「かわなべ牛」もあります。２０２０年は、「九州管内系統和牛枝肉共励会」という大会で銅賞１席になりました。

穴見　地元の美味しいものに出会う旅ができそうですね。

塗木　商工観光課が「肉バスツアー」を企画して非常に人気です。２０２２年10月、４年に一度の和牛オリンピック「全国和牛能力共進会」が霧島市と南九州市で行われたのを機に開発された市内17店舗の「みなコレ名物丼」をランチで堪能できるというツアーです。現在は各店舗でも提供しています。また、つい数日前も川辺町の商店街を巡るツアーを実施しました。商店街のメンチカツ、コロッケ、ヨモギ団子を食べて、お昼はみなコレ名物丼、その後、「川辺仏壇工芸会館」で箔押し体験や螺鈿（らでん）といって貝のかけらを木地にはめ込む体験までできる内容です。

今年のゴールデンウィークにオープン!
アドベンチャーパーク森のかわなべ

2023年ゴールデンウィークに「アドベンチャーパーク森のかわなべ」がオープンします。コンセプトは森と楽しむ。樹木間にワイヤーを設置し、丸太渡りのようなバランス系、吊り橋のようなブリッジ系、クライミングなどの遊具を組み合わせたコース設定で、約100mのジップラインが特徴的です。遊びながら学ぶことのできるアクティビティ施設です。

懐深い自然、歴史を活かした多彩な観光スポット

穴見　川辺町は仏壇も有名なんですか。

塗木　昔、川辺は島津藩による一向宗の禁制（１５９７年）のもとでも信仰を守り続けるため、見かけはタンス、開くと仏壇が現れる独特の仏壇が生み出されました。彫刻や金具、漆塗り、蒔絵、金箔など各工程の職人がおり、その高い技術が今も受け継がれています。

穴見　南九州市は歴史の懐も深いですよね。立派な石垣や生け垣、門構えの武家屋敷が立ち並ぶエリアもあります。

塗木　江戸時代の薩摩藩は他藩に比べて武士の人数が多く、人口の４分の１を占めていたといわれます。鹿児島城周辺に全員が住めないので、点在する山城ごとに住まわせる「外城制度」があり、知覧の武家屋敷群もその一つです。

穴見　それぞれの屋敷の庭園も見応えがありました。

塗木　屋敷の門をくぐると、正面に立派な岩がしつらえてあったでしょう。あれは単なる装飾ではなく、屏風岩といって外敵の侵入と弓矢を防ぐためのものなんです。イヌマキと茶の木でできた生垣も中から外の様子が手に取るように見える一方、外から中の様子は見えません。そんな仕掛けが至るところに施されています。

穴見　そうだったんですか。少し下調べしていくとより楽しめますね。市としてはどのような観光スポットをアピールされているんでしょうか？

塗木　観光誘致の目標の一つが滞在時間の拡大です。３つの町が合併したわけですから、それぞれの町の魅力や個性をつないで、巡回できる観光地にしたいと思っています。

穴見　今日は事前の下見を兼ねて、頴娃町、知覧町、川辺町の順に回りました。頴娃町は海が近く、開聞岳が海沿いから見えました。良い景色でした。その後、釜蓋（かまふた）神社に行ったところ、平日なのにたくさんのお客様がいらっしゃるのには少し驚きました。頭の上に蓋を載せて鳥居をくぐっている人もいたのですが、あれは何をしているんですか？

塗木　釜の蓋を頭に載せて鳥居から拝殿まで落とさずに参拝できると、願い事が叶うという言い伝えがあるんです。勝負の神様として知られていて、元なでしこジャパンの澤穂希さんと福元美穂さんが参拝して、２０１１年の女子ワールドカップで優勝したという逸話があります。特にＰＲしたわけではないんですが、その前後から少し注目されていたみたいです。

穴見　そういえば、有名な方のサインがたくさんありました。勝負は何においてもついて回りますからね。

滞在時間を延ばしたくなる町へ

塗木　同じ海浴いに番所鼻（ばんどころばな）自然公園があり、釜蓋神社から海岸沿いの遊歩道でつながっています。後、大野岳は行かれませんでしたか？これも頴娃町にあって、山頂は３６０度の壮大な見晴らしです。大野岳のふもとの茶畑ではお茶を味わえたり、ブレンドティーづくりの体験ができたりします。２０２１年にこの海岸線一帯と大野岳が「薩南海岸県立自然公園」に指定されました。

穴見　川辺町にも自然の景勝地がありますね。

塗木　川の流れに沿って切り立つ岩に磨崖仏が見られる「岩屋公園」や山伏の修業場だったとされる「八瀬尾の滝」があります。３町が連携して、よりまとまりのある観光地づくりができると、１日では観光しきれなくなるでしょう。その時はホテルＡＺさんに泊まってもらって、翌日も観光していただきたいものです（笑）。

穴見　市内を車で移動したのですが、どこへ行くにもスムーズで、短時間で行くことができました。道路の整備にもかなり力を入れられているんでしょうか？

塗木　南薩縦貫道は開通していますが、まだまだ整備途上です。これからより良くなると思います。

穴見　移動手段として、電動アシスト付き自転車のシェアサイクルもありますね。私は自転車に乗るので、サイクリストの立場で見ると、桜島の降灰の影響が気になったのですが、どうですか？

塗木　桜島の灰はお茶の芽にも良くありません。幸いなことに南九州市では降灰はほとんどなく、夏場に１、２日降るくらいです。

穴見　それであれば自転車に乗る人も走りやすいですね。当ホテルは自転車の室内持ち込みができるなどサイクリストに優しい取り組みを進めている最中です。南九州市の自然やグルメはこれからサイクリストも魅了していくと思います。

塗木　ありがとうございます。当市は宿泊施設が本当に欲しかったんです。ＡＺさんのような個室型じゃないと、今の若い方はあまり泊まりたがらないでしょう。

穴見　そうですね。当社のホテルには二段ベッドのお部屋があるのですが、それをお一人で使う方も増えています。プライバシーが守られると快適ですし、しっかりと休養できます。当社もどんな方にも親しんでいただけるホテルづくりをしていきますので、ぜひご利用ください。

知覧武家屋敷庭園群

門をくぐった先にある目塞ぎや、魔除けや火事除けのためにイノシシの目を模した手水鉢、刀の血をすすぐための太刀洗など、少し前知識があるとより楽しめるスポット。武家屋敷をそのまま活かした郷土料理店やカフェもあります。4月１日から周辺の駐車場が無料に!

5月に見ごろを迎えるサツキが見事な庭園もあります。

大野岳からの展望

右奥に見えるのが開聞岳

薩摩半島の南端にある大野岳は、標高466m。展望台からは360度のパノラマが楽しめ、眼下には段々に連なった茶畑が広がります。108歳の長寿を祝う「茶寿」に因み、108段ある茶寿階段には、還暦、喜寿、米寿などの節目の言葉が刻んであります。

茶寿階段

番所鼻（ばんどころばな）自然公園

番所鼻とは、江戸時代に薩摩藩の海上警備施設があったことに由来する地名です。遊歩道や展望デッキがある自然公園として親しまれていますが、今後は美しい海岸線や開聞岳の眺めを活かしたキャンプ場などもできる計画です。

釜蓋（かまふた）神社

対談を終えて。

川辺店のオープンは２０１５年のことです。当時、私は社内で店舗開発部長のポジションにあり、同店は初めて契約までトータルに担当したという意味でも思い出深い土地です。なだらかに続くお茶畑は変わらず美しい風景でした。このような地形だからこそ知覧が飛行場として選ばれたのだと思います。平和を語り継ぐ町、そして、知覧町、川辺町、頴娃町の三位一体のまちづくりが進む南九州市には見てほしいもの、味わってほしいものが詰まっています。ぜひ足を運んでみてください。

（穴見　賢一）